

2-4-2 進化の具体例

$T_1(P; Q_1, \dots, Q_n; Z; S, U, I, J)$ と $T_2(P, Q_1, \dots, Q_n; Z(N_3); S, U, I, J)$ の関係、
 $T_2(P_1, \dots, P_n; E; S, U, I, J)$ と $T_4(P_1, \dots, P_n; S, U, I, J)$ の関係、
 $T_3(Q_1, \dots, Q_n; Y; S, U, J)$ と $T_4(Q_1, \dots, Q_n; S, U, I, J)$ の関係、
 $T_3(Q_1, \dots, Q_n; Y; S, U, J)$ と $T_5(Q_1, \dots, Q_n; S, U, I, J)$ の関係、
 $T_{02}(P_1, \dots, P_n; E; S, U, I, J)$ と $T_{04}(P_1, \dots, P_n; S, U, I, J)$ の関係、
 $T_{12}(E; S, U, I, J)$ と $T_{14}(S, U, I, J)$ の関係、 $T_{22}(E; S, U, I, J)$ と $T_{24}(S, U, I, J)$ の関係
はいずれも、前者が第3段階の進化を経て後者に成る、という関係だ。

$T_3(Q_1, \dots, Q_n; Y; S, U, J)$ と $T_{04}(Q_1, \dots, Q_n; S, U, I, J)$ の関係、
 $T_3(Q_1, \dots, Q_n; Y; S, U, J)$ と $T_{05}(Q_1, \dots, Q_n; S, U, I, J)$ の関係、
 $T_3(Q_1, \dots, Q_n; Y; S, U, J)$ と $T_{14}(S, U, I, J)$ の関係、
 $T_3(Q_1, \dots, Q_n; Y; S, U, J)$ と $T_{15}(S, U, I, J)$ の関係、
 $T_3(Q_1, \dots, Q_n; Y; S, U, J)$ と $T_{24}(S, U, I, J)$ の関係、
 $T_3(Q_1, \dots, Q_n; Y; S, U, J)$ と $T_{25}(S, U, I, J)$ の関係も、ほぼそういう関係だと考えてよ
い。ただし、以上の見方は間違ではないが、もっとも自然な見方になっている
とは限らない。例えば T_1 と T_2 の関係は、分析と総合の観点からとらえた方が自
然だろう。

$T_2(P_1, \dots, P_n; E; S, U, I, J)$ と $T_{12}(E; S, U, I, J)$ の関係、
 $T_4(P_1, \dots, P_n; S, U, I, J)$ と $T_{14}(S, U, I, J)$ の関係、
 $T_5(P_1, \dots, P_n; S, U, I, J)$ と $T_{15}(S, U, I, J)$ の関係、
 $T_{02}(P_1, \dots, P_n; E; S, U, I, J)$ と $T_{22}(E; S, U, I, J)$ の関係、
 $T_{04}(P_1, \dots, P_n; S, U, I, J)$ と $T_{24}(S, U, I, J)$ の関係、
 $T_{05}(P_1, \dots, P_n; S, U, I, J)$ と $T_{25}(S, U, I, J)$ の関係は、いずれも前者が第3段階の進
化を経て後者に成る、という関係だと見ても大きな間違ではないだろう。ただ
しこれらは、進化の際に何らの方程式も付け加えられず前者の運動方程式が後者
でもそのまま用いられるパターンに、なっている。

T_4 と T_5 の関係、 T_{04} と T_{05} の関係、 T_{14} と T_{15} の関係、 T_{24} と T_{25} の関係は、いずれも
逐次静止系についての定理(§2-3-3)によって表される。この定理は、 T_4 から